



## 2024年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年2月14日

上場会社名 株式会社 ビケンテクノ  
コード番号 9791 URL <https://www.bikentechno.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長  
四半期報告書提出予定日 2024年2月14日  
配当支払開始予定日  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
TEL 06-6380-2141

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	25,526	0.4	1,325	13.8	1,442	18.6	65	105.7
2023年3月期第3四半期	25,637	6.6	1,536	20.7	1,772	12.3	1,143	6.2

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 47百万円 (104.1%) 2023年3月期第3四半期 1,143百万円 (9.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	8.68	
2023年3月期第3四半期	151.58	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第3四半期	42,779	19,413	45.4	2,573.45
2023年3月期	39,240	19,672	50.1	2,607.72

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 19,413百万円 2023年3月期 19,672百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期		10.00		14.00	24.00
2024年3月期(予想)		14.00		14.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,500	5.2	2,350	19.4	2,600	4.5	1,700	1.8	225.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期3Q	7,718,722 株	2023年3月期	7,718,722 株
期末自己株式数	2024年3月期3Q	174,966 株	2023年3月期	174,966 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期3Q	7,543,756 株	2023年3月期3Q	7,543,756 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.311「当四半期決算に関する定性的情報(2)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結会計期間において、当社元社員が在職時に管理業務を担当する複数のマンションにおいて管理費等を着服する不正行為が発覚しました。これを受けて当社は外部専門家（弁護士・公認会計士）によって構成される調査委員会を設置して調査を実施いたしました。

当社は各マンション管理組合との和解交渉に基づき損害賠償を行う方針ではありますが、最終的な賠償金額については現段階では確定しておりません。なお、当該不正事案に係る損害賠償等の支出に備える引当金の繰入額及び調査関連費用等について不正関連損失として特別損失に計上しておりますが、今後、損害賠償額等に差異が発生した場合には、当社グループの業績及び財政状態に影響を与える可能性があります。再発防止に向け全社を挙げて取り組んでまいります。

当第3四半期連結累計期間におけるビルメンテナンス業界を取り巻く環境は、アフターコロナによる経済活動が定着しつつあり、コロナ禍前への回復が見られます。しかし、人材採用難、人件費上昇、物価上昇による原価・経費負担増等による収益環境への影響も強まっています。

このような状況下、当社グループにおいては、コロナ禍の中で大きな影響を受けていたホテル事業で急速な回復を見せ、フランチャイズ事業でも段階的に回復が進みましたが、不動産事業では不動産売却が成立したものの前期の実績には及ばなかったことや、人件費上昇等の影響もあり、前年同期と比較して売上高、経常利益が減少し、上記の特別損失計上により、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上となりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は25,526百万円（前年同期比0.4%減）、経常利益は1,442百万円（前年同期比18.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純損失は65百万円（前年同期は1,143百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

セグメントの概況は、次のとおりであります。

#### ① ビルメンテナンス事業

ビルメンテナンス事業では、アフターコロナによる経済活動が定着しつつあり、新たな商業施設や物流施設のメンテナンス業務等の受注が増加しました。一方、事務所移転・集約に伴う原状回復工事等の受注増やコロナ禍における特需等が減少したことや、人件費上昇の影響もあり、前年同期と比較して売上高は微増いたしました。セグメント利益は減少いたしました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は21,614百万円（前年同期比1.0%増）、セグメント利益は2,385百万円（前年同期比8.2%減）となりました。

#### ② 不動産事業

不動産事業では、不動産の売買、仲介及び保有している不動産の賃貸等を行っております。当第3四半期連結累計期間においても不動産売却が成立しましたが、前年同期の実績には及ばず、売上高、セグメント利益が減少いたしました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,391百万円（前年同期比38.9%減）、セグメント利益は303百万円（前年同期比52.0%減）となりました。

#### ③ 介護事業

介護事業では、介護施設の運営や介護サービスの提供を行っており、入居者様・ご家族様の立場に立った高いレベルのサービスを提供しております。各施設とも引き続き、感染予防対策に重点を置きながらの営業活動となっていることから稼働率回復に時間を要しておりますが、段階的に回復しつつあり、前年同期と比較して売上高が増加し、セグメント損失が抑えられました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は680百万円（前年同期比0.1%増）、セグメント損失は47百万円（前年同期は61百万円のセグメント損失）となりました。

#### ④ フランチャイズ事業

フランチャイズ事業では、サルヴァトーレ・クオモ、やきとり家すみれ、プロント、ミスタードーナツ、銀座に志かわ、ツタヤ等の店舗展開を行ってまいりましたが、ツタヤ店舗（1店舗）は2024年1月末に閉店いたしました。人の動きも戻ってきている中で、業績は段階的に回復しつつあり、前年同期と比較してセグメント売上が増加し、黒字化することができました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は837百万円（前年同期比14.6%増）、セグメント利益は29百万円（前年同期は34百万円のセグメント損失）となりました。

#### ⑤ ホテル事業

ホテル事業では、東京と沖縄で合計3棟のホテルを運営しております。コロナ禍の中で大きな影響を受けていたホテル事業は、アフターコロナの浸透により人々の移動が活性化し、前連結会計年度の終盤から急速に業績が回復してきており、前年同期と比較して売上高およびセグメント利益が大幅に増加しました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は748百万円（前年同期比156.5%増）、セグメント利益は194百万円（前年同期は109百万円のセグメント損失）となりました。

#### ⑥ その他事業

その他事業では、フードコート運営事業、太陽光発電事業、当社の営業活動のネットワークを生かした関連商

品の販売事業等を行っております。連結子会社で製造販売している除菌水売上のコロナ禍特需はなくなり、フードコート運営事業において客足の回復がみられたものの、前年同期と比較して売上高は増加しましたが、セグメント損失は拡大しました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は254百万円（前年同期比0.8%増）、セグメント損失は21百万円（前年同期は20百万円のセグメント損失）となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の通期連結業績予想については、現在精査中であるため、2023年5月15日の公表値を据え置いておりますが、修正が必要となった場合には、速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,823,257	10,559,292
受取手形、売掛金及び契約資産	3,983,380	3,779,304
商品及び製品	63,801	123,978
販売用不動産	5,205,021	4,662,419
未成工事支出金	18,052	24,947
原材料及び貯蔵品	39,093	46,680
その他	1,220,547	817,541
貸倒引当金	△74,146	△205,113
流動資産合計	18,279,009	19,809,050
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,122,040	5,717,570
土地	9,765,256	11,232,838
建設仮勘定	24,074	1,650
その他（純額）	550,459	515,282
有形固定資産合計	15,461,830	17,467,341
無形固定資産		
のれん	727,288	629,756
その他	185,883	236,277
無形固定資産合計	913,171	866,034
投資その他の資産		
その他	4,829,027	4,888,347
貸倒引当金	△243,000	△251,000
投資その他の資産合計	4,586,027	4,637,347
固定資産合計	20,961,029	22,970,723
資産合計	39,240,039	42,779,774

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,181,309	2,168,412
短期借入金	1,800,000	4,100,000
1年内返済予定の長期借入金	2,963,758	2,921,082
未払法人税等	505,748	118,693
賞与引当金	362,569	177,157
不正関連損失引当金	—	672,008
その他	3,069,044	3,263,821
流動負債合計	10,882,430	13,421,175
固定負債		
長期借入金	6,981,610	8,179,063
役員退職慰労引当金	235,610	239,652
退職給付に係る負債	443,074	457,553
資産除去債務	111,065	101,678
その他	914,229	967,147
固定負債合計	8,685,590	9,945,095
負債合計	19,568,021	23,366,270
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,808,800	1,808,800
資本剰余金	1,672,968	1,672,968
利益剰余金	16,326,224	16,049,471
自己株式	△78,566	△78,566
株主資本合計	19,729,427	19,452,674
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	143,408	213,523
為替換算調整勘定	△190,119	△243,157
退職給付に係る調整累計額	△10,698	△9,536
その他の包括利益累計額合計	△57,409	△39,170
非支配株主持分	—	—
純資産合計	19,672,018	19,413,503
負債純資産合計	39,240,039	42,779,774

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	25,637,824	25,526,551
売上原価	20,074,575	19,979,893
売上総利益	5,563,249	5,546,658
販売費及び一般管理費	4,026,416	4,221,466
営業利益	1,536,833	1,325,192
営業外収益		
受取利息	32,737	33,545
受取配当金	22,688	36,035
受取賃貸料	24,584	24,561
受取補償金	540	—
助成金収入	50,857	25,556
持分法による投資利益	29,358	21,573
為替差益	84,287	70,337
その他	56,943	32,755
営業外収益合計	301,997	244,366
営業外費用		
支払利息	49,590	51,608
支払手数料	16,485	45,701
貸倒引当金繰入額	—	10,897
その他	586	19,109
営業外費用合計	66,663	127,316
経常利益	1,772,167	1,442,241
特別利益		
固定資産売却益	9,712	5,694
投資有価証券売却益	—	895
投資有価証券償還益	—	49,999
特別利益合計	9,712	56,589
特別損失		
固定資産売却損	3,548	2,530
固定資産除却損	4,794	6,601
減損損失	—	49,469
不正関連損失	—	953,811
その他	—	4,100
特別損失合計	8,342	1,016,512
税金等調整前四半期純利益	1,773,536	482,319
法人税、住民税及び事業税	538,540	460,564
法人税等調整額	91,485	87,223
法人税等合計	630,026	547,787
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,143,510	△65,468
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	1,143,510	△65,468



(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	1,143,510	△65,468
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	39,392	70,114
為替換算調整勘定	△39,158	△53,037
退職給付に係る調整額	14	1,161
その他の包括利益合計	248	18,238
四半期包括利益	1,143,759	△47,230
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,143,759	△47,230
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。